

会 議 議 事 録

1 会議名	第10次第6回長岡市廃棄物減量等推進審議会
2 開催日時	平成30年3月19日（月曜日） 午後2時から午後2時50分まで
3 開催場所	寿クリーンセンター2階会議室
4 出席者名	<p>合計38名</p> <p>○審議会委員（18名）</p> <p>会長：馬場省吾 副会長：仁木正哉</p> <p>委員：丸山将範、田中暁美、小林美枝子、菊地紅子、大島峰子 牧野知津子、玉木康子、笠井久子、林隆生、加藤一平 榊原眞知子、関さとみ、山田紀伊子、佐野ゆり江 椛澤アイ子、南雲香苗</p> <p>○事務局（20名）</p> <p>環境部長：若月和浩</p> <p>環境政策課 課長：宮島義隆</p> <p>環境施設課 課長：野口明夫 課長補佐：武内豊 鳥越クリーンセンター所長：吉井義勝</p> <p>環境業務課</p> <p>課長：小林伸治、課長補佐：児玉清隆、総括副主幹：久保倉淳 減量推進係長：広田高志、主査：多田通郎</p> <p>中之島支所市民生活課環境係長：宮部一雄</p> <p>越路支所市民生活課環境係長：鷺頭正一</p> <p>三島支所市民生活課環境係長：矢川睦</p> <p>山古志支所市民生活課主査：金子愛子</p> <p>小国支所市民生活課環境係長：峯村克夫</p> <p>和島支所市民生活課環境係長：高橋聡</p> <p>寺泊支所市民生活課環境係長：吉澤光彦</p> <p>栃尾支所市民生活課環境係長：仲野靖</p> <p>与板支所市民生活課環境係長：井村昭夫</p> <p>川口支所市民生活課副主幹：渡辺諒一</p>
5 欠席者名	委員：田中里美、高橋愛、丸山将範、渡辺道郎

6 議題	<p>1 開会</p> <p>2 議題 (1) 長岡市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）について (2) 平成30年度長岡市一般廃棄物処理実施計画について ・平成30年度長岡市一般廃棄物処理実施計画（案） ・平成30年度ごみ処理計画（概要）</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>
7 審議結果の概要	<p>第10次6回目の審議会。長岡市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）について、また平成30年度長岡市一般廃棄物処理実施計画（案）及び平成30年度ごみ処理計画（概要）について意見を伺った。長岡市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）については、表紙デザイン、キャッチフレーズ等を含め承認された。事務局が策定した平成30年度長岡市一般廃棄物処理実施計画（案）及び平成30年度ごみ処理計画（概要）等が承認された。</p>
8 審議の内容	
環境業務課 課長補佐	<p>・資料確認</p>
会長	<p>議題（1）「長岡市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）について」審議いたします。この議題は、今まで2回審議してまいりましたが、本日が最終審議となります。それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
環境業務課 減量推進係長	<p>（議題（1）について、資料「長岡市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）、表紙デザイン（案）」により事務局説明）</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、ご質問等はございますか。</p> <p>ご説明にあったように、以前皆さんにいろいろ議論していただきましたが、「次世代につなごう！循環型のまちづくり」というキャッチフレーズにさせてもらいました。</p> <p>私も大学の者ですが、今までは何もデザインのない表紙でしたが、今回市の方からのご提案で、もう少しデザインをしている方にも読んでもらえる、手に取ってもらえるものを作成したいというお話をいただきました。こういうものは手にとって開くところまでもっていくのが、我々デザインをしている人間にとって一番大事なところなんです。最初見た瞬間に「これなんだろう」と思わせる、さらに、見ていて視点が移動しながら、これは何だろうなという気持ちにさせるということが重要です。学生が3名、専門の教員がついて結構プロフェッショナルなプロセスを踏んで、市の方にも何回も来ていただいてコンセプトから出して行って、最終的にこれになったということです。本学もこういう形で少し力になってよかったかなと思っております。</p> <p>他にご意見はないでしょうか。</p>
委員	<p>これが郵送されてきた時に、開けてまず、オレンジカラーの印刷物が目に入り、これはすごくいいと思いました。年配者だけでなく若い世代など、いろんな方からごみに関心を持ってもらえる、このイラストもすごくいい。ごみは生活に密着しているけれども、白表紙のものだと「なんだ、ごみの</p>

<p>会長</p>	<p>基本計画か〜」、と手にも取ってもらえないと思いますが、これはすごくインパクトが強かったです。いいな、と思いました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>まさにおっしゃられたとおり、ごみは社会の中で最後のもの、目に見えないようにしていくもの、という感覚がありますが、これからの時代は3R、もしかしたらごみっていうものが最初に来る、一つの起点になる。循環型というのはサステナビリティ、どこからスタートしても必ず戻ってきて、いつもその場をスタートとして考えていく、同じ価値感で考えていく、ということです。ですから、ごみ・廃棄物というものの意識を出来るだけ子供さんや普通の方にも持ってもらうというのが重要なのかなと思います。委員の方もそういうお気持ちでここに出ているらっしゃると思うので、審議会として市の方とこういう形ができたのは、喜ばしいことだと思います。今後もこういう形でできればと思います。</p>
<p>環境部長</p>	<p>委員、大変ありがとうございました。まさに私どもも、これまでの計画書の表紙は真っ白で、委員のおっしゃったとおり誰も見ないかと思い、何かできないかと考えました。会長は造形大学の教授であり、大学の人にやってもらって若い人に興味をもってもらえないかと事務局と先生と相談してここまでできました。まさに委員がおっしゃったことを狙っていました。感じ取ってもらって感謝しています。若い世代がこういった一般廃棄物、ごみのことに興味を持ってもらえたらと思います。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>本計画の審議は以上となります。よろしいでしょうか。今までご審議いただきありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、次に議題（2）「平成30年度長岡市一般廃棄物処理実施計画について」審議いたします。事務局から説明をお願いします。</p>
<p>環境施設課 課長 環境業務課 課長</p>	<p>（議題（2）について資料「平成30年度長岡市一般廃棄物処理実施計画（案）」、「平成30年度ごみ処理計画（概要）」により事務局説明）</p>
<p>会長</p>	<p>ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>P.1の3、（1）の下に「※2 燃やすごみには生ごみの発酵不適物を含みます」とあります。生ごみを出して不適物を焼却の方に回すということですが、それはどういうものが主にいくのでしょうか。数として結構多いな、と思いますので、その辺をお聞かせください。</p>
<p>環境施設課 課長</p>	<p>生ごみの収集日には、紙おむつ、ペットシートも一緒に出していいと市民にお知らせしております。実際は生ごみを集めるパッカー車でステーションに行き、生ごみのピンク色の袋と、紙おむつの黄色の袋を一緒にパッカー車に入れます。したがって、それが生ごみのピットに全部一緒に入ります。そこで、機械で生ごみとそうでないものを分けまして、生ごみでないものは不適物ということで焼却施設で処理する、その数値が入っているということです。</p>
<p>委員</p>	<p>おむつもそこに入れて、分けてない、ということですね。</p>

環境施設課 課長	はい、皆さん、袋の色で分けているのかな、と思っていたと思いますが、すべて一緒にいれて機械上で選別するという事です。そうするとたまに衣類などが混じっていて、衣類が機械に絡んで止まったりします。黄色い袋だから紙おむつ以外も入れていいかな、と安易に考えて入れると全部機械に入るものですから、そういったことが起きます。必ず分けてくださいとお願いはしていますが、更なる周知も必要かと考えております。しかしながら、市民の方の分別の意識も進んでおり、大きな不適物は減少してきております。
委員	私の近くのごみステーションにはピンクの生ごみ用の袋に新聞紙が入っていたり、ペットボトルが入っていたりというのが、しょっちゅうではないのですが、たまにあります。結局それをよく理解していない人がまだまだいるのかなと思いますので、その辺もこれから力を入れていただければと思います。私もそうですが、これから高齢社会になって、よく理解できなくて決まりを守らずに出す人もこれから増えてくるのかな、と考えます。その辺ちょっと言っただけだとありがたいなと思います。
環境施設課 課長	そういったことも、ごみ情報誌などで啓発していきたいと思います。実際に衣類や厚い本などが入ると機械に絡まってしまいます。初期には漬物石みたいのが入っていて機械が故障したということもありました。最近はそのようなことも減少傾向で順調に動いていますが、今度もこういう啓発につきましては力を入れていきたいと思っています。皆さんご協力をお願いします。
会長	ありがとうございました。他に意見はございませんか。
委員	「ながおかのごみ改革」で、ペットボトルのキャップとラベルについて記載があります。プラスチックのキャップとラベルを自宅では外して出していますが、コンビニなどでは、キャップを入れるところもあるのですが、取らないで捨てています。ある人から、コンビニとかではみんな出しているのに自宅ではラベルを外して出しているってどうなんだろうという話がありましたので、教えていただきたいと思っています。
環境施設課 課長	私どもが収集したものはリサイクルプラザで処理をしていますが、コンビニ等事業系のごみに関しては、私どもではわからない部分があります。
会長	では、専門の委員の方がおりますので、お願いします。
委員	ペットボトルのリサイクル処理の会社をしているものです。状況が変わりつつあるのですが、今のところラベルとかキャップとかも全部一緒に粉碎して洗浄してリサイクルしています。コンビニから処理費をいただいています。長岡市に入る廃棄物ではなくて事業系の廃棄物としてリサイクルしていますが、それはそのままでもリサイクルできます。
会長	何かそういうちょっとしたご質問等があれば、この機会ですから。業者の方もいらっしゃると思いますので、教えていただくのもいいかと思えます。よろしいですか。 ないようでしたら、今回の審議はすべて終了となります。ありがとうございました。今の審議も今後は市の方で実施計画を決定し、来年度に実行していく形になると思います。よろしく願いいたします。 これで、本日予定していた審議は、すべて終了しました。貴重なご意見、それからご審議をいただきまして、本当にありがとうございました。それで

<p>環境業務課 課長補佐</p> <p>環境政策課 課長</p> <p>環境業務課 課長補佐</p> <p>環境業務課 課長</p>	<p>は、進行を事務局にお返しします。</p> <p>馬場会長、ありがとうございました。 続きまして、次第の「3 その他」でございますが、事務局から1点ございます。</p> <p>(3 その他について「トキ公開施設愛称決定総選挙」(チラシ)により事務局説明)</p> <p>よろしいでしょうか。では、最後に環境業務課長が閉会のご挨拶を申し上げます。</p> <p>本日もちまして、平成28年7月21日の第1回目から今回の第6回まで開催させていただきました第10次の長岡市廃棄物減量等推進審議会を終了いたします。委員の皆さんからは貴重なご意見をいただきありがとうございました。今回策定いたしました長岡市一般廃棄物ごみ処理基本計画に基づきましてごみの減量を進めていきたいと思っておりますので、今後とも皆様のご協力をお願いします。本日は、ありがとうございました。これにて閉会いたします。</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>